

2024年度日本学生支援機構貸与奨学金

# 在学採用説資料[大学院]

---

2024年4月時点で

横浜国立大学大学院の正規生として在籍している  
日本人および在日外国人学生（留学生を除く）  
日本学生支援機構の奨学金貸与希望者

外国籍の方は注意！

申込不可：留学

申込OK：永住者、日本人の配偶者、定住者等

条件あり：家族滞在

# 1. 日本学生支援機構貸与奨学金について

(1) 推薦基準

(2) 奨学金の種類・貸与内容

(3) 利率(第二種)・返還方式(第一種)

(4) 特に優れた業績による返還免除制度(第一種)

# 2. 大学院在学採用について

# 3. 在学採用申請書類作成について

# 4. 採用手続きについて

# 5. 貸与中手続きについて

# 1. 日本学生支援機構貸与奨学金について

## (1) 推薦基準

人物・学力・家計

申込資格を満たした申込者を  
日本学生支援機構へ推薦  
日本学生支援機構が採用決定

### ・学力基準

各大学院へ進学できる学力

本人及び配偶者(定職)の収入  
によって判断

### ・家計基準

収入基準額					
第一種		第二種		併用	
修士/ 博士前期	博士後期	修士/ 博士前期	博士後期	修士/ 博士前期	博士後期
299	340	536	718	284	299

## (2) 奨学金の種類・貸与内容

- 第一種（無利子）
- 第二種（有利子）
- 入学時特別増額貸与奨学金

※第一種・第二種の併用貸与も可能

※貸与型のため、すべて返還義務あり

大学院第一種には  
「特に優れた業績による返還免除制度」あり  
奨学金の全部/一部 免除！

## ・入学時特別増額貸与奨学金

奨学金申込時における収入金額120万円以下

または「国の教育ローン」を利用できない方を対象

入学初年度に一度だけ支給される有利子の奨学金

※第二種の利率に0.2%上乗せした利率(増額貸与率)が適用

推薦時までに手続きを行い、指定される書類を準備。  
申込希望者は、申請前に申し出てください

貸与期間 修業年限での修了予定期

貸与金額

- 第一種奨学金

博士課程前期： 5万 / 8.8万

博士課程後期： 8万 / 12.2万

- 第二種奨学金

5万円 / 8万円 / 10万円 / 13万円 / 15万円

- 入学時特別増額貸与奨学金(一時金)

10万 / 20万 / 30万 / 40万 / 50万

### (3) 利率(第二種)・返還方式(第一種)

#### 利率について(第二種奨学金)

##### ・利率固定方式

利率が返還完了まで一定なので、  
月々の返還額は一定

##### ・利率見直し方式

利率が概ね5年ごとに見直しされるため、  
月々の返還額が増減

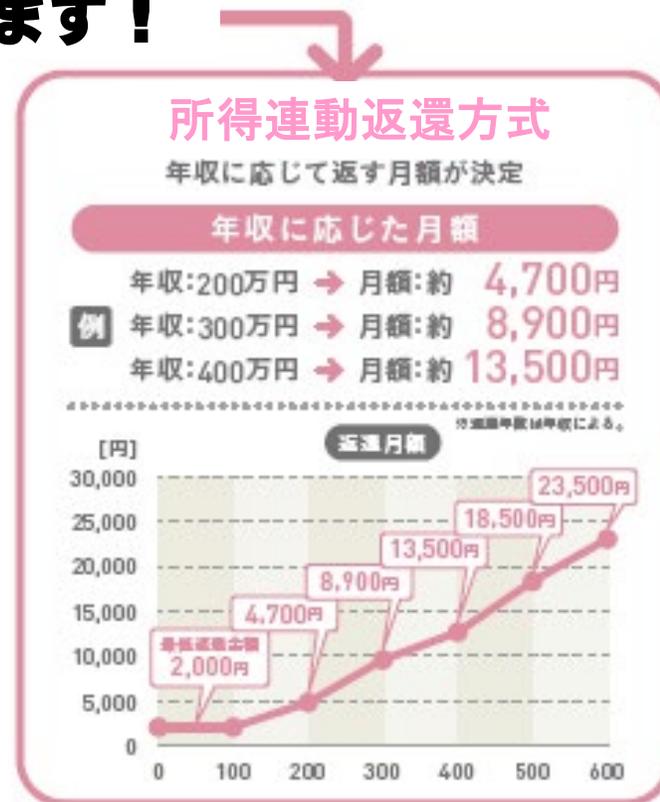
いずれも上限利率が3.0%を超えることはありません。

日本学生支援機構ウェブサイト  
で適用利率を確認できます

# 返還方式について(第一種奨学金)

- ・定額返還方式
- ・所得連動返還方式

選べます！



所得連動返還方式の注意点:

### 機関保証を選択

(人的保証の方は機関保証に変更する必要あり)

貸与終了前までは「定額返還方式」への変更は可能ですが、  
機関保証から人的保証へは変更できません。

採用時にマイナンバーの提出が必要  
(日本学生支援機構 委託業者へ直接送付)

## (4) 特に優れた業績による返還免除制度(第一種)

奨学金の全部または一部(半額)の返還が免除

大学院での第一種奨学金貸与者のみ対象

貸与終了年度に申請する必要があります  
(辞退者、退学者も申請可能)

M1、D1、D2で奨学金を辞退した場合、辞退した年度でなければ、申請できません。  
上記の場合、MC・DC修了時は申請できません。

### 【参考】2024年度申請スケジュール(予定)

申請書類配付	2025年1月上旬～2025年2月上旬
申請受付期間	2025年1月上旬～2025年2月上旬
結果発表	2025年7月下旬

## 2. 大学院在学採用について

申請書類提出期限： 2024年4月26日（金）17:00 **厳守**

スカラネット入力期限： 4月30日（火）25:00 **厳守**

申請書類提出・スカラネット入力 両方を  
期限までに行うと申請完了。  
期限後は、いかなる事情があっても受け付けません。

採用者発表： 2024年7月下旬※申請時提出のレターパックによる郵送

初回振込月：  
7月（第一種）  
7月 or 8,9月の希望する貸与始期（第二種）  
※4月～7月分まとめた振込



# 保証制度について

いずれを選択しても、返還の義務は本人にあり

## 人的保証

- ・ 連帯保証人、保証人を選任
- ・ 本人が返還できない場合、  
連帯保証人、保証人が返還の責任を負う

必ず事前に承諾を得ること！

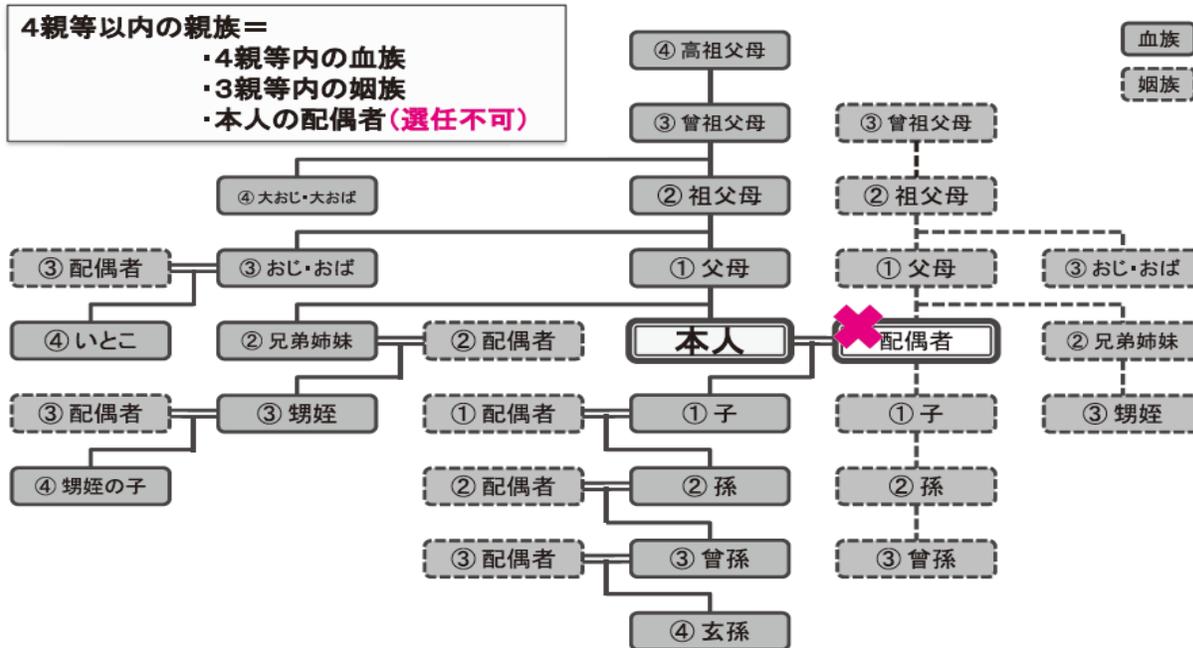
採用手続きの際に返還誓約書に署名・  
実印での押印・収入に関する証明書・  
印鑑登録証明書の添付が必要

## 機関保証

- ・ 連帯保証人・保証人は不要
- ・ 月々一定の保証料を保証機関に支払うことで、  
本人が返還できない場合、保証機関が代位弁済

返還の義務がなくなるわけではありません！

後日、保証機関から本人へ一括返還を求められます。



連帯保証人は父母のどちらか  
保証人は、4親等以内の親族かつ  
65歳未満の者

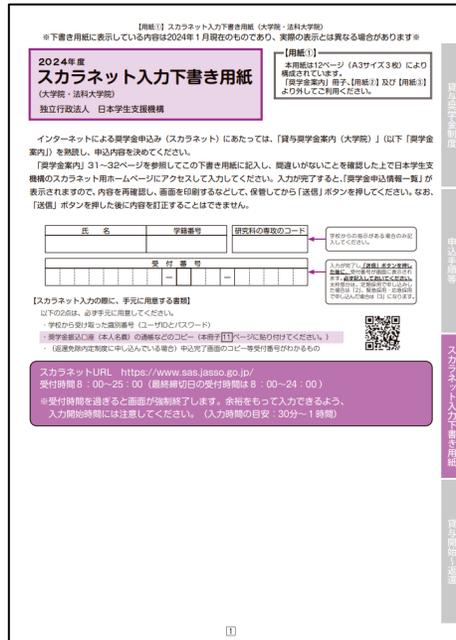
上記選任条件以外の方を選任する場合、支援機構が定める「選任条件の例外」の条件があり、採用手続きの際に返還を確実に保証できる資力を有することについて証明する必要があります。証明できない場合、選任できず、場合によっては採用取消となる可能性もあるので、**必ず事前に**選任条件をよく確認してください。

詳細は「奨学金案内」P.17～21を参照

# スカラネット入力下書き用紙

他の申請書類はすべて、下書き用紙の裏付け資料。

各書類に記入した内容を基に記入。



書類提出後のスカラネット  
入力の際に使用。

## レターパックプラス

レターパックプラス

〒□□□□□□

レターパックプラス 520

To ↑

本人住所

From ↓

大学住所

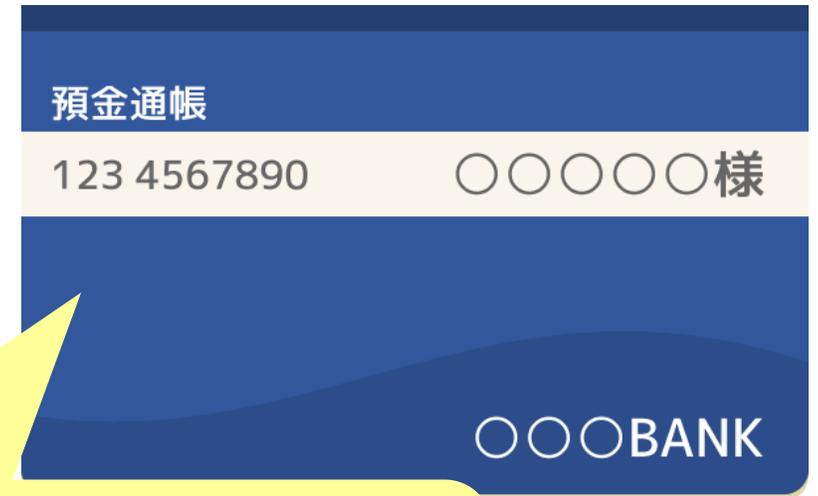
「書類」と記入

氏名・学籍番号

4kgまで

送付先住所等記入！  
「申込みについて」P.3参照  
大学生協、コンビニ、  
郵便局で購入できます

## 指定振込口座の通帳の写し 本人名義の指定可能な金融機関指定



口座番号の誤入力があると  
振込を受けられません。  
初回振込が大幅に遅れることも！

# 収入状況申告書[様式2-①] [様式2-②]・収入についての証明書

前年(2023年)分の本人・配偶者(定職)収入を申告。

前年分に対し、本年の収入見込みに変動がある場合は、  
本年の収入も申告。

指定される「収入についての証明書類」も提出。

例. 源泉徴収票、年収(見込)証明書等、給与明細

収入の変動とは:  
本年の収入が、前年の収入に対して  
退職、就職、奨学金の終了、待遇の変更等で  
増減がある場合

詳細は「奨学金案内」P.26～28  
「申込みについて」p.4  
様式2-①裏面記入方法を参照

裏面：様式2-①・②、【用紙②】収入計算書記入方法 2024年度大学院在学採用 様式2-①(役員提出)

### 日本学生支援機構奨学金収入状況申告書

研究科・学部・学環 <input type="checkbox"/> 修士/博士前期 <input type="checkbox"/> 博士後期 <input type="checkbox"/> 教職大学院	フリガナ	
研究科 学部 学環	氏名	

I. 「前年」の収入について記入してください。  
前年：あなた・配偶者の収入(2023年1月～12月)

内容	該当する収入へ○	必要書類 「奨学金案内」p.26～27参照
定職(本人)	※	2023年源泉徴収票 2023年分所得税の確定申告書(控) 年収証明書(様式3) 等
アルバイト(横浜国立大学内)	※	
アルバイト(横浜国立大学以外)	※	
	※	
	※	
	※	
父母等からの給付		収入計算書【用紙②】裏面(前年用)への証明
奨学金(日本学生支援機構)	※	返還確認票、奨学生証 等
奨学金(その他)	※	採用通知(金額、期間が確認できるもの) 等
その他の収入 ※預貯金の取崩等		生活費の出入に使用している預金通帳のコピー (各農人ページ、直近3か月分程度記録部分)
配偶者		
定職(配偶者)	※	2023年源泉徴収票 2023年分所得税の確定申告書(控) 年収証明書(様式3) 等

II. A/Bいずれに該当するか確認し、B該当者は「本年見込み」へ記入してください。

A	本年(2024年1月～12月)の収入見込みは、上記前年の収入に対して、変動(*)はありません。	→	下表「本年見込み」へ記入不要
B	本年(2024年1月～12月)の収入見込みは、上記前年の収入に対して、変動(*)します。	→	下表「本年見込み」へ記入

(\*)「変動」とは、定職・アルバイトの転退職、就職、奨学金・手当等の開始、終了をいいます。

本年見込み：あなた・配偶者の収入(2024年1月～12月) ※前年に対し変動\*があれば記入

内容	該当する収入へ○	必要書類
定職(本人)	※	年収見込証明書(様式3) 直近3か月以上の給与明細 退職証明書(2024年5月末までに退職した(する)収入で、以後継続の予定がないもの。なお、収入金額へは不納入。) 【いずれも、変動のある収入についてのみ提出】 等
アルバイト(横浜国立大学内)	※	
アルバイト(横浜国立大学以外)	※	
	※	
	※	
	※	
父母等からの給付		収入計算書【用紙②】裏面(非採用)への証明
奨学金(日本学生支援機構)	※	返還確認票、奨学生証 等
奨学金(その他)	※	採用通知(金額、期間が確認できるもの) 等
その他の収入 ※預貯金の取崩等		生活費の出入に使用している預金通帳のコピー (各農人ページ、直近3か月分程度記録部分)
配偶者		
定職(配偶者)	※	年収見込証明書(様式3) 直近3か月以上の給与明細 等

III. ○が付いた「※」の収入内容を、収入状況申告書(様式2-②)の該当年月に記入してください。

様式が足りなければコピー

2024年度大学院在学採用  
様式 2-②(該当者のみ提出)

IV. 収入状況申告書(様式 2-①)にて○のついた「※」の収入内容を記入してください。

勤務先・奨学金名称等	① (本人・配偶者)	② (本人・配偶者)	③ (本人・配偶者)	様式 2-①へ記入した収入の種類、勤務先等を記入。
採用年月・ 受給開始年月等	<input type="checkbox"/> 2023年1月1日以前 <input type="checkbox"/> 2023年1月2日以降 (年 月)	<input type="checkbox"/> 2023年1月1日以前 <input type="checkbox"/> 2023年1月2日以降 (年 月)	<input type="checkbox"/> 2023年1月1日以前 <input type="checkbox"/> 2023年1月2日以降 (年 月)	該当へ①。採用(開始)年月を記入。 例) 2021年9月等
期間	<input type="checkbox"/> 2024年内は継続する <input type="checkbox"/> 年 月で終了	<input type="checkbox"/> 2024年内は継続する <input type="checkbox"/> 年 月で終了	<input type="checkbox"/> 2024年内は継続する <input type="checkbox"/> 年 月で終了	該当へ①。終了(退職)年月を記入。 審査時(2024年5月末)までに終了し、 以後継続の予定がない収入は、収入金額の 記入は不要です。
賞与(ボーナス)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無(該当なし)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無(該当なし)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無(該当なし)	給与収入について、必ず選択。
本年(2024年)の 週当たりの勤務時間数	週 時間	週 時間	週 時間	週当たりの平均時間数を記入。

前年の収入(実績)

2023年 1月	円	円	円
2023年 2月	円	円	円
2023年 3月	円	円	円
2023年 4月	円	円	円
2023年 5月	円	円	円
2023年 6月	円	円	円
2023年 7月	円	円	円
2023年 8月	円	円	円
2023年 9月	円	円	円
2023年 10月	円	円	円
2023年 11月	円	円	円
2023年 12月	円	円	円
前年合計	円	円	円

「前年の収入」記入方法:  
・必要書類で確認した収入金額を、  
実績ベースで記入(自身の目算での  
記入は不可)  
・源泉徴収票等年額の証明書類で  
確認する場合は、各月の記入は不要。  
「前年合計」へ年額を記入。

本年見込みの収入

2024年 1月	円	円	円
2024年 2月	円	円	円
2024年 3月	円	円	円
2024年 4月	円	円	円
2024年 5月	円	円	円
2024年 6月	円	円	円
2024年 7月	円	円	円
2024年 8月	円	円	円
2024年 9月	円	円	円
2024年 10月	円	円	円
2024年 11月	円	円	円
2024年 12月	円	円	円
本年見込み合計	円	円	円

「本年の収入(見込み)」記入方法:  
・「前年」の収入から変動(\*)があれば  
記入。  
\*「変動」とは、定職・アルバイトの転退職、就職、  
奨学金・手当等の開始、終了をいいます。  
・審査時(5月末)までに終了し、以後  
継続の予定がない収入は、本年見込  
収入の合計には含めません。終了した  
ことについて、退職証明書を提出。  
・給与明細からの推算方法  
※交通費等非課税収入は含めず。  
ボーナスあり: 月額平均×15  
ボーナスなし: 月額平均×12

・収入毎に①②③へ分けて記入

・収入の開始時期、期間(終了していれば終了年月)、  
賞与の有無を記入  
アルバイトは、週当たりの時間数も記入

・前年の収入について実績を、へ記入  
前年の収入に対して、本年の収入に変動がある場合、  
本年の収入見込み年額を、へ記入

5月末までに終了した(する)収入で、以降継続性がない  
収入は含めないでください。  
→「退職に関する証明書」を提出

短期アルバイト等、本年中に退職したが、以降再び行う予  
定があるものは本年の収入見込みに含めてください。

# 収入に関する証明書類

## 源泉徴収票 等

令和 XX 年 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者 住所又は居所 東京都新宿区市谷本村町 1丁目99-9 機構ハイツ505	氏名 [フリガナ] ショウガク イチロウ [役職名] 奨学 一郎	[受給者番号] ○○○○○1				
種別 給与・賞与	支払金額 8,309,654	給与所得控除後の金額 6,278,688	所得控除の額の合計額 3,072,448	源泉徴収税額 320,600		
控除対象配偶者の有無等 有 無 控除の額	扶養親族の数 (配偶者を除く) 特定 1人 非特定 0人	障害者の数 (本人を除く) 障害 0人 非障害 0人	社会保険料等の金額 899,448	生命保険料の控除額 50,000	地震保険料の控除額 3,000	住宅借入金等特別控除の額
* (妻) 春子 (長男) 太郎 (二男) 次郎 (長女) 花子		国民年金保険料等の金額		配偶者の合計所得		借入金等特別控除の金額

勤務先へ発行依頼が必要な場合あり！

## 退職に関する証明書[様式4]

本年中に退職した収入で、  
以降継続性がない収入について提出

源泉徴収票、離職票、勤務先の様式等で退職が確認できるものがあればそれでok！

## 年収(見込)証明書[様式3]

勤務先での様式があればそれでok！

## 貸与奨学金返還確認票 等

## 給与明細(3か月分以上)

年額を推算して本年の収入見込み額を記入

# 【用紙②】収入計算書

不備が大変多いです！  
早めに準備  
署名も忘れずに！

収入状況申告書に記載した内容を基に記入。

父母等からの給付額がある場合、(裏)に給付者から証明を受ける。

## 前年

**表** 記入は必須

収入計算書 [前年 (2023年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込み並びに、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（スカラネット）への入力を行います。

○学校名 大学 研究科

○課程 (該当の数字に○) :

- 修士・博士前期課程
- 一般学部
- 博士後期課程
- 法科大学院
- 専門職大学院課程 (法科大学院を除く)
- 修士後・修 (4年制) ・教養学部

○申込者氏名 ○学籍番号

〔各項目1万円未満切り捨て〕

前年 (2023年1月～12月) の収入額	
収入項目	収入額 (A)
定職1 (本人)	万円
定職2 (本人)	万円
定職 (配偶者)	万円
〔該当者のみ〕	万円
アルバイト1	万円
アルバイト2	万円
アルバイト3	万円
父母等からの給付額 (*)	万円
奨学金	万円
その他収入 (収入が0円の場合は「0」と記入してください)	万円
収入合計	万円

〔重要〕収入合計は、0万円とらないよう記入してください。

この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込 (前年に対して変動が見込まれる場合に限り) の収入合計をスカラネット入力してください。

## 本年

収入計算書 [本年見込 (2024年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込み並びに、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（スカラネット）への入力を行います。

〔収入の状況 (以下の該当する方に、○) を付けてください。〕

- 本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありませぬ。
- 本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。

〔各項目1万円未満切り捨て〕

本年 (2024年1月～12月) の収入見込額	
収入項目	収入額 (B)
定職1 (本人)	万円
定職2 (本人)	万円
定職 (配偶者)	万円
〔該当者のみ〕	万円
アルバイト1	万円
アルバイト2	万円
アルバイト3	万円
父母等からの給付額 (*)	万円
奨学金 (申込中の奨学金は除く)	万円
その他収入 (収入が0円の場合は「0」と記入してください)	万円
収入見込額合計	万円

〔重要〕収入合計は、0万円とらないよう記入してください。

必要となる証明書類を裏面に添付してください。

## 本年

**裏**

収入計算書 [本年見込 (2024年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込み並びに、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（スカラネット）への入力を行います。

〔収入の状況 (以下の該当する方に、○) を付けてください。〕

- 本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありませぬ。
- 本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。

〔各項目1万円未満切り捨て〕

本年 (2024年1月～12月) の収入見込額	
収入項目	収入額 (B)
定職1 (本人)	万円
定職2 (本人)	万円
定職 (配偶者)	万円
〔該当者のみ〕	万円
アルバイト1	万円
アルバイト2	万円
アルバイト3	万円
父母等からの給付額 (*)	万円
奨学金 (申込中の奨学金は除く)	万円
その他収入 (収入が0円の場合は「0」と記入してください)	万円
収入見込額合計	万円

〔重要〕収入合計は、0万円とらないよう記入してください。

必要となる証明書類を裏面に添付してください。

## 前年

収入計算書 [前年 (2023年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込み並びに、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（スカラネット）への入力を行います。

○学校名 大学 研究科

○課程 (該当の数字に○) :

- 修士・博士前期課程
- 一般学部
- 博士後期課程
- 法科大学院
- 専門職大学院課程 (法科大学院を除く)
- 修士後・修 (4年制) ・教養学部

○申込者氏名 ○学籍番号

〔各項目1万円未満切り捨て〕

前年 (2023年1月～12月) の収入額	
収入項目	収入額 (A)
定職1 (本人)	万円
定職2 (本人)	万円
定職 (配偶者)	万円
〔該当者のみ〕	万円
アルバイト1	万円
アルバイト2	万円
アルバイト3	万円
父母等からの給付額 (*)	万円
奨学金	万円
その他収入 (収入が0円の場合は「0」と記入してください)	万円
収入合計	万円

〔重要〕収入合計は、0万円とらないよう記入してください。

この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込 (前年に対して変動が見込まれる場合に限り) の収入合計をスカラネット入力してください。

父母等からの証明

**表** のページは  
記入必須

**前年**

[用紙②] 収入計算書

前年用 (表)

収入計算書 [前年 (2023年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 \_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_

○課程 (該当の数字に○) :

1. 修士・博士前期課程
2. 一貫制博士
3. 博士後期課程
4. 法科大学院
5. 専門職大学院課程 (法科大学院を除く)
6. 博士医・歯・薬 (4年制)・獣医学課程

○申込者氏名 \_\_\_\_\_ ○学籍番号 \_\_\_\_\_

[各項目1万円未満切り捨て]

前年 (2023年1月～12月) の収入額		収入額 (A)
【証明書類必要】		
収入項目	(年額)	万円
定職 ◎	定職1 (本人)	万円
	定職2 (本人)	万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	万円
アルバイト ◎	アルバイト1	万円
	アルバイト2	万円
	アルバイト3	万円
父母等からの給付額 (★)	万円	
奨学金	万円	
その他の収入 (親子・配当・不動産・年金等の公的手当で、奨学金の取崩等)	万円	
<b>ア</b> 収入額合計	万円	

この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込 (前年に対して変動が見込まれる場合に限る) の収入金額をスカラネットに入力してください。  
必要となる証明書類は裏面に添付してください。 [裏面につづく]

前年用 (表) ①

**本年**

[用紙③] 収入計算書

本年見込用 (表)

収入計算書 [本年見込 (2024年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

【収入の状況】 (以下の該当する方に、「○」を付けてください。)

本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。	このページは記入不要。
本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。	両ページの各項目を全て記入 (前年と変動のない同じ項目も同じ金額を記入)。

[各項目1万円未満切り捨て]

本年 (2024年1月～12月) の収入見込額		収入額 (B)
【証明書類必要】		
収入項目	(年額)	万円
アルバイト1	万円	
アルバイト2	万円	
アルバイト3	万円	
父母等からの給付額 (★)	万円	
奨学金 (申込中の奨学金は除く)	万円	
その他の収入 (親子・配当・不動産・年金等の公的手当で、奨学金の取崩等)	万円	
<b>イ</b> 収入見込額合計	万円	

必要となる証明書類は裏面に添付してください。 [裏面につづく]

本年見込用 (表) ②

**前年と変動があれば  
本年の収入見込みも記入**

本年の収入見込み  
退職等により不算入になる収入があっても合計額「0円」とはなりません。

これまでの支出を賄っていたはずなので、その額は「その他の収入」として計上する必要があります。

「その他の収入」は  
証明書類として、通帳の  
コピーの提出が必要！

左ページ: 前年(2023年)の収入

右ページ: 本年(2024年)の収入見込み

# 収入状況に係る申立書[様式5](必要な場合のみ)

すでに退職したアルバイト先が遠方で、退職証明がもらえない！

派遣会社に登録だけ残しているが、仕事の依頼を全く受けていない！

2021年度大学院在学費用  
様式5 該当者のみ提出

日本学生支援機構貸与奨学金

収入状況に係る申立書

横浜国立大学長 殿

所 属 \_\_\_\_\_  
学 籍 番 号 \_\_\_\_\_  
申請者氏名(自署) \_\_\_\_\_

※該当する□にシ点を入れ、空欄に必要事項を記入してください。

<input type="checkbox"/>	書類(紛失・未発行)のため提出できませんが、勤務先_____での勤務は、令和____年____月限りで終了しており、現在は当該勤務先から収入を得ていません。なお、前年中の収入は_____万円でした。(終了した収入の前年実績)
<input type="checkbox"/>	勤務先_____について、正式な退職手続き未完了につき在職状態となっていますが、令和____年____月以降は勤務の依頼が無く、現在は実質的に退職状態です。(実質退職)
<input type="checkbox"/>	勤務先_____について、不定期の依頼に基づく断続的な勤務状況であり、収入状況申告書に記載した以外の月には収入はありません。(不定期勤務)
<input type="checkbox"/>	勤務先_____での勤務期間のうち、令和____年____月～令和____年____月については、_____の事由により勤務しておらず、収入を得ていません。(コロナ等による中断)
<input type="checkbox"/>	勤務先_____発行の源泉徴収票には年途中の就職・退職に関する記載がありますが、本件に係る労働契約は年度・学期・季節毎に締結と解除を繰り返しているものであり、上記の記載事項に関わらず、前年収入と本年見込収入は同等となる見込みです。(TA・RA・季節労働等)

上記事項に相違ありません。

上記に加え、以下の点についても申し立てます。


※ 申請内容に虚偽があった場合は、「申請無効」とする場合があります

定期的な勤務ではないアルバイトに從事している...

毎年春学期だけTAを頼まれている！

記述する場合はできるだけ具体的に！

# 提出書類記入の際の注意点

- ・ボールペン等で記入してください！
- ・修正液等で直さない！
- ・丁寧に書きましょう！
- ・マイナンバーの未記載の証明書類を提出！
- ・保証人（おじ・おば・いとこ等）の情報は正確に。
- ・父母等からの給付に係る書類は早めに依頼。

万が一記載されているもの  
しかない場合、必ず黒塗り  
して提出ください

短期間で書類を揃えるのは不可能です。  
準備は早めに。期限厳守！

# スカラネットへの入力（書類提出完了後、4月30日（火）25:00まで）

日本学生支援機構奨学金申込み専用ウェブサイト「スカラネット」 (<https://www.sas.jasso.go.jp/>)

スマホ、タブレットでも入力可！

書類提出（4月26日（金）まで）時に  
窓口で交付するID・PWを入力

独立行政法人  
日本学生支援機構  
JASSO Japan Student Services Organization

スカラネット

### 奨学金を希望する方へ

画面の指示にしたがって正しく記入してください。  
疑問な点や不明な点は学校に問合わせてください。  
スカラネットの利用時間は午前8時から午前1時までです。

- ※ 申込入力中に1つの画面で30分を過ぎると自動的にタイムアウトとなり、最初からやり直しとなりますので気を付けてください。
- ※ 奨学金申込み（大学院を除く）のためにスカラネットに初めてログインする際はメールアドレスの登録が必要です。  
迷惑メール設定をしている場合、認証メールが届かない可能性があります。事前に日本学生支援機構 (jsas@ses.jasso.go.jp) からのメールを受信できるように設定を変更してください。

ご提供いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務（返還業務を含む。）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む。）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。  
機密保持加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供さ

### 「奨学金の新規申込」を選択

奨学金申込みのためにスカラネットに初めてログインする方は「○奨学金の新規申込・進学届の提出」を、初回ログインが完了されている方は「○ログイン（アカウント情報登録済の人）」をクリックしてください。

- 奨学金の新規申込・進学届の提出
- ログイン（アカウント情報登録済の人）
- 返還免除内定制度の申込

独立行政法人  
日本学生支援機構  
JASSO Japan Student Services Organization

スカラネット（奨学金申込）

### 奨学金申込専用ページ

奨学金の申込みありがとうございます。  
申込み画面の指示にしたがって正しく記入してください。  
疑問な点や不明な点は学校に問合わせてください。  
申込の時間は午前8時から翌日午前1時までとなっております。

日本学生支援機構

#### ログイン

あなたの識別番号（ユーザIDとパスワード）を入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください。

(注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID:

パスワード:

ログイン

(注) 「進学届の提出」を行いたい方はこの「ログイン」ボタンではありません。

独立行政法人日本学生支援機構 Copyright © JASSO. All rights reserved.

# 奨学金貸与・返還シミュレーションで返還額を試算しましょう！

返還予定金額を  
確認してから申込みを！

第二種奨学金・  
入学時特別増額貸与奨学金  
は有利子です。  
利息も含めた貸与額に注意！

独立行政法人  
日本学生支援機構  
JASSO Japan Student Services Organization

シミュレーション・メニュー

奨学金はいくら必要な？

奨学金貸与・返還  
シミュレーション

返還のことを考えてみよう！

いくら借りたらいくら返すのか  
シミュレーションができます。

日本学生支援機構の貸与奨学金は、  
在学中に借りた奨学金を卒業後に毎月返還していく制度です。  
「いくら奨学金を借りればいいんだろう？」  
「毎月いくら返還していくことになるんだろう？」  
考えながらシミュレーションしてみましょう。

開始

※第一種奨学金(無利息)は平成29年度採用者から  
収入に応じた月額で返還していく方式を選択できるようになりました。  
[収入と返還月額のおおよその対応\(見直し\)はこちら。](#)

独立行政法人日本学生支援機構 Copyright © JASSO. All rights reserved.

奨学金貸与・返還シミュレーション：  
<http://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

こちらから  
シミュレーション

# 4. 採用手続きについて

採用された方にはレターパックプラスで

「奨学生証」「返還誓約書」等を送付

(7月下旬予定)

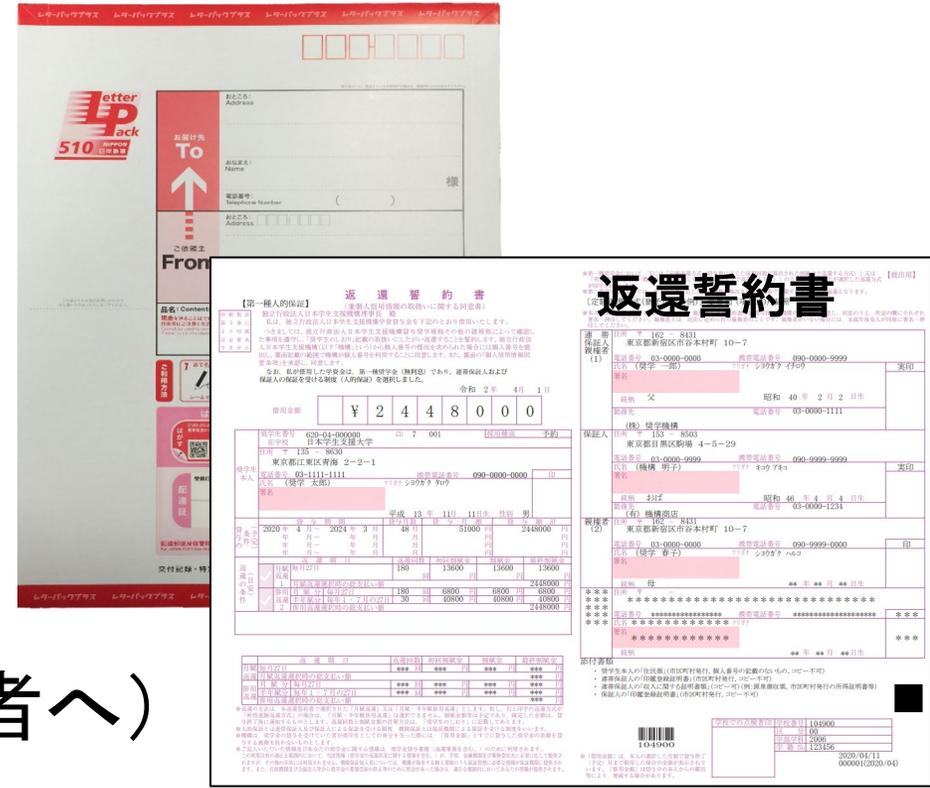
「返還誓約書」、添付書類を提出

マイナンバー確認書類の送付(委託業者へ)

(所得連動返還方式選択者)

期限に送れると奨学金振込を**保留**し、

場合によっては**採用取消(全額返金)**



# 「スカラネットパーソナル」へ登録



独立行政法人  
日本学生支援機構  
JASSO Japan Student Services Organization



## スカラネット・パーソナルへ (スカラネットPS) ようこそ

スカラネット・パーソナルを活用すると

- ・ 転居・改姓・勤務先変更等の届出ができます。
- ・ 繰上返還の申込ができます。
- ・ 在学猶予願の提出ができます。
- ・ あなたの奨学金情報の閲覧・確認ができます。
- ・ 奨学金減額返還願・奨学金返還期限猶予願の作成・印刷ができます。
- ・ 現在、奨学金を貸与・返還中の方はいつでもスカラネット・パーソナルに登録できます。

ログイン・新規登録は、下のボタンをクリックしてください。  
(ユーザID・パスワードを忘れた方も下のボタンから)

ログイン・新規登録

登録手順・利用条件

スカラネットPSの登録手順・利用条件の詳細は

【各種届・願出・繰上返還申込と受付時間等】

- 転居等届出  
返還者本人のみならず連帯保証人・保証人・本人以外の連絡先の方及び本人以外のリレー口座名義人について以下の届の受付を開始しています。
- 【本人・連帯保証人・保証人・本人以外の連絡先の方及び本人以外のリレー口座名義人】

あなた個人のページです。  
スカラネットPSから申請する毎年  
行う手続きもあるので、採用後は  
**至急必ず登録を！**



スカラネット・パーソナル：  
<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/>

# 5. 貸与中手続きについて

・異動手続き：退学・留学・休学・復学の際

大学院への手続きと奨学金の手続きは連動して  
いません！

異動願(届)提出：異動始期の前々月末

これ以降に決まった場合は至急！

・各種変更手続き：

月額、口座、改氏名、住所(本人は住民票住所のみ)、連帯保証人・保証人 など

## 異動願(届)

【様式1-1】 異動願(届)

国立行政法人日本学生支援機構奨学金課  
〒100-8305 東京都千代田区千代田1-1-1

○ 異動開始の時期(退学、留學、休學、復學)を記入してください。

姓	名	姓	名	姓	名	姓	名
姓	名	姓	名	姓	名	姓	名
姓	名	姓	名	姓	名	姓	名
姓	名	姓	名	姓	名	姓	名

以下、該当する異動種別(退学)【詳述】及び異動事由(病気、経済事情)を記述してください。

貸与終了に係る異動

退学	留學	休學	復學
退学事由	留學事由	休學事由	復學事由
退学日	留學日	休學日	復學日

受給資格のない月に振り込まれると一括返金が必要！  
留学の際は注意

学校	学校	学校	学校
学校	学校	学校	学校
学校	学校	学校	学校
学校	学校	学校	学校

# 【重要】継続願提出(12月～1月下旬)

翌年度の奨学金継続について、**毎年**(最終学年を除く)提出(インターネット入力)する必要があります。

継続も辞退も届け出が必要！

「廃止」者へはペナルティあり！

留学中の方も手続きが必要ですので要注意！

忘れると「**廃止**」(資格喪失)

・12月中旬頃説明資料を公開予定(説明会は未定)

YNUメール/学生支援課ウェブサイト・学内掲示板を必ず確認！

# 大学からのお願い

- 個人への連絡はYNUメールを使用します。  
見落としが無いようスマホへの転送設定など行ってください。
- 大学からの連絡には対応してください。  
「045-339-3112」を「横浜国大 奨学金担当」で  
ケータイに登録しておくのがオススメ！  
連絡先：横浜国立大学学生支援課経済支援係連絡先  
TEL:045-339-3112  
E-mail:gakusei.keizai@ynu.ac.jp (◎を@に)
- 大学に登録している住所・電話番号が変更になったら大学へ届出！

# 大学からのお願い



- みなさんへの連絡は**掲示板・学生支援課のウェブサイト**で行います。  
必ず定期的にチェックを！

横浜国立大学学生支援課経済支援係

学生センター(キャンパスマップ 建物S5-1)2階①窓口

(土日祝を除く8:30～12:45 / 13:45～17:00)

TEL:045-339-3112 E-mail: [gakusei.keizai@ynu.ac.jp](mailto:gakusei.keizai@ynu.ac.jp)

学生支援課ウェブサイト (◎を@に)

<http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/>

重要な継続手続き等  
について掲示します。  
必ず定期的に確認!



- ・日本学生支援機構貸与奨学金は皆さんに返還義務があります。必要額、修了後に返還可能なのかよく検討のうえ申し込んでください。
- ・奨学金を借りるのは“あなた自身”です。手続きの際は、自覚と責任のもと行動してください。